

井上円了と哲学堂公園

井上円了(安政五年〔一八五八〕～大正八年〔一九一九〕)

井上円了：東洋大学創始者、哲学者
哲学堂公園：国指定名勝
(松が丘二―三四―二八)



井上円了

哲学堂は、東洋大学の創立者・井上円了が建設した公園です。東洋大学の移転予定地を円了が買い取り「精神修養のための公園」、また社会教育の場としました。

円了は哲学堂を「教育的、倫理的、哲学的精神修養」の場として構想し、その空間に祀^{まつ}られた聖賢に接することで、人々に精神修養を促すことを目的としました。哲学堂内の建物・庭園・橋・泉などは哲学にちなむ名称がつけられ、石碑などを含め七十七場がもうけられています(現在では失われたものもあり)。

明治三六年(一九〇三)に建設が始まり、翌三七年(一九〇四)に最初の建物である孔子・釈迦・ソクラテス・カントを祀^{まつ}る四聖堂が落成、大正七年(一九一八)ごろには、ほぼ現況に近い形となりました。哲学を主題とする、他に類を見ない固有の都市公園といえます。